

### 3-9 職場環境② 外部環境（関係先・市場動向）把握のための時間労力（上司向け調査 Q12、部下向け調査 Q10）に関する集計結果

続いて、外部環境（関係先・市場動向）把握のための時間労力について、上司向け調査の結果を見れば、2項目いずれにおいても「少回答」がもっとも多かった（図3-9-1参照）。したがって、上司の視点による職場認識では、市場全体の動向を探り、顧客や競合先の動きを把握するために使うべき時間と労力が、少なすぎると判断されている。

この傾向は、部下向け調査でも見られている（図3-9-2参照）。2つの質問に対して、「少回答」がもっとも多かった。つまり、市場動向や顧客の動きを把握するための時間と労力が、自職場に足りていないことが、部下の認識からも見て取れるのである。

ただし、上司向け調査の結果と比べれば、回答が満遍なく広がっており、部下の立場で自職場を判断したほうが、よりバランスのとれた印象が形成されている。逆に言えば、部下の立場では、時間と労力をマネジメントする責任は少ないので、結果として、問題意識が希薄となっていることが読み取れる。

図3-9-1  
上司向け調査結果

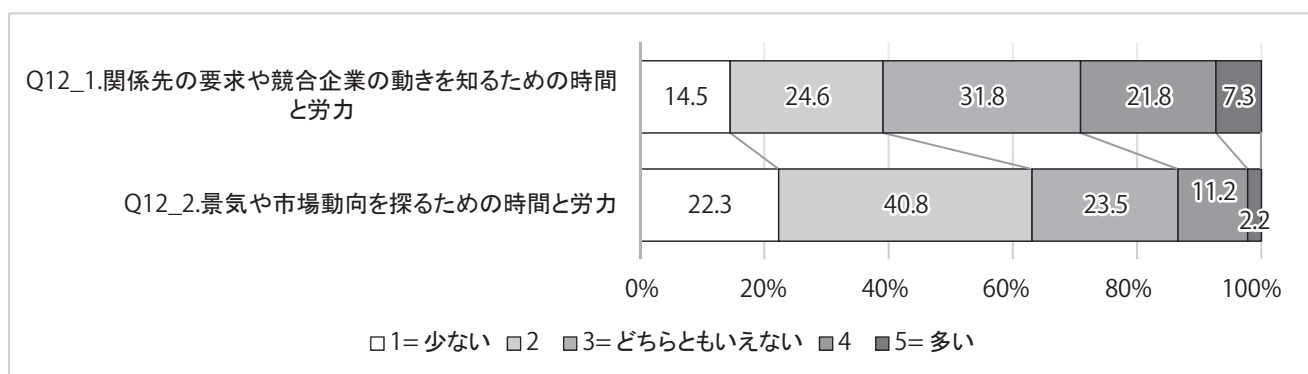


図3-9-2  
部下向け調査結果

